

夢をあきらめないで ～どこまでも続く夢～

曾於市教育委員会「夢」育み支援事業

曾於市教育委員会では、基本目標である「覇気に満ち、常に夢実現にチャレンジする児童生徒の育成」の具現化を図るため、「夢」育み支援事業を行っています。

今回は、2008年「トック・ドール料理コンテスト」で日本一に輝いた、鹿児島県庁レストラン「ラテラス」の料理長寺地貴子さんを招き、11月18日、曾於市立笠木小学校で行った料理教室の様子を紹介します。5・6年生の児童を前に寺地さんが、魚の三枚おろしや鯛のポアレなどふだん見ることのできないプロの料理を実演されました。児童らは、寺地さんの鮮やかな包丁さばきに驚き、あこがれの眼差しで見入っていました。そのあと、児童たちは、ハッシュドビーフと一緒に作りながら、料理の面白さや奥深さに感心していました。



実演に続き、「夢をあきらめないで ～どこまでも続く夢～」と題して、講演もありました。初めは食べることを楽しみにしていた子どもたちからは、講演を聞いているうちに「寺地先生の生き方がカッコよく思え、夢をもつことは大事だと思った。」「寺地先生を目標にして夢を叶えるために自分も頑張ろう。」などの声が聞かれました。夢をあきらめずに努力することの大切さを肌で感じるひとときとなりました。

次に、曾於市立諏訪小学校での「夢」育み支援事業の取組を紹介します。

10月24日、NHK大河ドラマ「天地人」の題字を書かれたことで有名な熊本在住の武田双雲先生が、諏訪小学校を訪問されました。最初はどんな人なのかすごく緊張気味の子どもたちも双雲先生の楽しいおしゃべりに次第に笑顔がひろがりました。双雲先生の夢は、教師になることと、書道の楽しさを世界中に伝え、みんなで笑うことだそうです。そのおかげか、参加した61名の児童全員が、文字を書くことが楽しくて楽しくてたまらないという感想に満ちあふれていました。「君、大物になるよ。」「おっ、天才が現れた。」と、声をかけられた子どもたちにとっては、まさに夢のような3時間でした。

